

好生館だより

2010. 3

第 8 号



佐賀県立病院好生館

設立の理念

「好生の徳は民心にあまねし」
「学問なくして名医になるは
覚束なきことなり」

基本理念

「病む人、家族、そして県民の
ここに添った
最良の医療をめざします」

基本方針（目標）

1. 患者様中心の信頼される医療
2. 質の高い最新の医療
3. 県民医療の確保と地域協調の医療
4. 教育の重視と人材の育成
5. 経営努力による健全経営の実現

目次

- 設立理念、基本理念 1ページ
- 館長挨拶 2ページ
- 診療科紹介：脳神経外科、腫瘍内科 3ページ
- 看護科だより（職場紹介）：7階東病棟、7階西病棟 4ページ
- 好生館ニュース：認定看護師 5ページ
- 好生館ニュース：院外処方箋について 5ページ
- 新任医師の紹介 6ページ
- 豆知識：知って得するお薬の話 7ページ
- 外来医師一覧表 8ページ

佐賀県立病院好生館

〒840-8571 佐賀市水ヶ江一丁目12番9号

T E L 0952-24-2171(代表)

F A X 0952-29-9390

<http://www.koseikan.jp/index.html>

館長挨拶



館長
樗木 等

平素は皆様に好生館をご支援いただき感謝申し上げます。今後も医療連携を益々強固にして地域医療に邁進いたします。

本年は、いよいよ4月から地方公営企業一部適用から地方独立行政法人へと経営形態を変えて再出発します。鍋島直正公に1858年に好生館を拜命して150年以上を経過しました。拜命後は必ずしも順風満帆ではなく、公立の名も外れ、存亡の危機がありましたが、1896年に県立病院として甦り今日に至っています。いま迎えている危機は、114年前に匹敵すると思えます。

総務省主導で公立病院の改善改革が推進され、公立病院改革ガイドラインに沿って改革プランを策定しました。地方独立行政法人として佐賀県から提示された中期目標に対して四年を一期として中期計画を作成し、目標を達成しなければなりません。結局、経営効率が主眼目です。中期計画の評価が不良であれば、好生館は民営化も見据えなければなりません。先人が誇りをもって守ってきた県立病院を手放す事は許されません。不採算部門を含め良質な県民医療の提供が好生館の使命であり、これに似合う評価、対価も求めて行きたいと考えます。黒字になることが一番ですが、それが第一目標でなく、結果でありたいと考えます。

昨年は、1月に日本病院機能評価を受審し、4月に認定を得ました。3月に好生館150周年記念行事を開催し、先人の医徳に学び、新たな好生館時代に臨む勇気をいただきました。10月より、嘉瀬に新築移転する新好生館病院の敷地造成が始まりました。本年、夏の建設着工を目処に実施設計中です。その他にも目前に控えた地方独立行政法人に向けた職員、職場の様々な仕組みの改訂、策定に忙殺されています。

ふと我に戻りますと、好生館の使命は救急医療、循環器医療、がん医療を中心として、県民に安全・安心で良質な高度医療を提供する事です。職員一同、基本の使命を見失うことなく、目標に向かって一丸となって取り組みたいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新しいシンボルマークのコンセプト

中央の赤いマークは、これまで病院のシンボルマークとして使用してきたもので、これを大切にしたいとの思いから、引き続き使用し、周りの人の輪は、病院職員と県民が一体となって病気を治すことを意味しています。

中央のマークの色は、これまでの赤系統とし、周囲の緑色は緑の多い佐賀の地をイメージしています。



【診療科紹介】

脳神経外科

脳神経外科部長 坂田 修治

好生館脳神経外科では脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、機能的脳神経外科など、広く一般の脳神経外科領域を扱っています。

3大成人病の一つである脳卒中は脳神経外科がもっとも力を入れている疾患で、365日体制で脳卒中の急性期診療に当たっています。重傷脳卒中を治療するSCU（脳卒中集中治療室）や脳神経外科、脳神経内科、循環器内科、救急部、脳卒中専門ナース、理学療法士、作業療法士、言語療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなどとチーム医療で脳卒中診療を行うSU（ストロークユニット）も整備して、脳卒中医療の向上に努力しています。最近、広く行われるようになった血管内治療にも取り組んでおり、最近では、脳血管障害の手術例では低侵襲手術である脳血管内手術の増加が著しくなっています。また、急性期リハビ

リテーションに積極的に取り組んでおり、発症早期から理学療法士、作業療法士、言語療法士などがベッドサイドリハビリテーションを行います。それにより機能障害を最低限に食い止め、最終的な生活の向上を目指します。

当科では外傷治療にも力を注いでおり、救命センターでは重症頭部外傷を積極的に受け入れています。また、多発外傷に関しては整形外科、外科、救急部とともに外傷チームとして診療しています。緊急血腫除去手術や脳低温療法を行っています。また、重傷頭部外傷後に起こる高次脳機能障害（記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害）の評価や後遺症認定などにも力を注いでいます。

高齢化社会の到来とともに認知障害は今後、ますます増加するものと予想されます。特発性正常圧水頭症とは原因が特定できず、脳室の拡大が見られ、歩行障害、認知症、尿失禁の症状が進行する病気です。的確に診断できれば、髄液シャント手術で症状の改善を得ることができます。当科でも積極的に治療を行っており、良い成績を収めています。



【診療科紹介】

腫瘍内科

腫瘍内科部長兼化学療法室部長
嬉野 紀夫

佐賀県立病院好生館腫瘍内科の嬉野と申します。この度は、腫瘍内科の案内をさせていただきます。

好生館は、がん拠点病院の一翼をにない、がんの患者さんに対して、抗がん剤を中心とした治療を専門的に行っております。平成20年7月よりがんの化学療法を専門とする腫瘍内科を設置し、抗がん剤によるがんの治療に力を入れています。

がんに対する治療は、手術・放射線療法・抗がん剤治療が3つの柱になりますが手術や放射線治療が局所に対する治療であるのに対して、抗がん剤治療は全身に対する治療であるという特徴があります。悪性腫瘍に対する高度で専門的な医療を提供するためには、適正な抗悪性腫瘍薬の使用は重要な条件です。とりわけ安全で効果的な抗悪性腫瘍薬療法を実践するために、『チーム医療としての抗悪性腫瘍薬療法』を基盤とし、抗悪性腫瘍薬療法に対して医師、看護師、薬剤師による専門

性の高いチーム医療の実践を目指しています。

最近、新規抗癌剤の登場、既存薬剤の併用療法・投与法の進歩により、がん治療における薬物療法の役割は急速に増大しています。特に頻度の高いがんの場合、適応となる患者数が多いため、標準治療の変化に伴う投与方法の変更や多様化、分子標的治療薬などの新規薬剤の導入、副作用や薬物相互作用の変化・多様化など、診療上考慮すべき点が非常に多いのが現状です。

また、抗がん剤治療には副作用が避けられませんので、腫瘍内科医は抗がん剤治療の専門家として、効果を最大限に引き出しつつ、副作用を最小限に抑える努力をしています。また、好生館では、患者さんの生活の質（QOL）を重視する観点から外来化学療法を積極的に行っています。これは、入院をしないで通院でがん治療を行うスタイルです。このことにより、お仕事や自宅での生活を維持しながらがん治療に取り込むことが可能となります。この外来化学療法の中核となるのが外来化学療法室で、標準化された抗がん剤治療を外来で安全に施行しています。腫瘍内科では、外来化学療法のマネジメントを行っており外来化学療法が円滑に行えるように日夜努力しています。

【看護科だより】

(職場紹介) 7階東病棟

病棟師長 江口久美子

私たちの病棟は、血液内科34床・皮膚科5床の混合病棟で、ベット数40床（特別室2床・無菌室2床を含む）です。特に、血液内科は佐賀県癌拠点病院としての重要な役割を担っています。スタッフは血液内科医師2名・皮膚科医師2名・看護師23名・看護助手（午前・午後各）1名・ヘルパー1名・クラーク2名で構成されています。

血液疾患としては白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫が多く、化学療法や放射線療法を受ける患者様が多い中、感染管理には特に力をいれ毎日看護を行なっています。

化学療法中の患者様は、身体的苦痛や行動の制限に耐えながら不安と戦っています。私達の一挙手一投足が、患者様に不安を与えな

いように、その人その人の個別性に応じて柔軟に対応し、患者様が自分の病気の状態や、長期療養を受け入れ生命・生活の質（QOL）を高められるように支援しています。

多忙な中にも涙あり、笑いありで、笑顔が絶えない明るい病棟です。リハビリや医療連携室、栄養管理化、薬剤科など他部門と連携をとりながら、チーム医療を行い、質の高い医療を提供できるように心がけています。



【看護科だより】

(職場紹介) 7階西病棟

病棟師長 副島 照子

私たちの病棟は、循環器と心臓血管外科の病棟です。循環器、心臓血管外科の病床数は40床です。またスタッフは、循環器の医師7名・心臓血管外科の医師3名・看護師22名・看護助手3名・クラーク1名のスタッフ構成で頑張っています。

近年、季節などの気温の変化によっても変動がありますが、救急で搬送される患者様の多くが循環器や心臓血管外科の患者様が多くなっています。また検査技術や治療が短期間の入院で退院でき外来通院のできるようになってきております。そのため患者様の入院退院が頻繁な病棟でもあります。私たちは、「コミュニケーションを大切にし、チーム力を発揮し、循環器グループの診療・看護に活かしていきます」という病棟目標をかかげて、短期間で患者様と信頼関係を築き患者様中心の看護を提供できることを目指しております。

患者様の多くは、緊急の入院での不安や心臓の検査・治療に対する不安や恐怖感を持っていらっしやいます。その不安や恐怖感また痛みなどの軽減ができるように医師はじめ7階西病棟スタッフ一丸となって治療やケア・援助を実施し、退院後患者様がより良い生活が送れるように日々努力しております。また医師や看護師はじめ薬剤師・栄養士・理学療法士と協力し包括的心臓リハビリも頑張っております。

このように患者様に安心して安全な看護を行なうことができるように、また患者様とご家族と私たちがともにして、患者様がよりよい生活を送れるようにしていきたいと思っております。今後も明るく元気な7階西病棟をよろしく願いいたします。





【健康講座】

インフルエンザ感染対策について

感染管理認定看護師

富田 泉

皆様はじめまして富田と申します。私は平成21年7月から佐賀県立病院好生館で感染管理業務に専従しています。具体的には、病院内での感染発生の監視及び発生時のマネジメント医療スタッフへの予防教育等を行っています。

昨年の4月に新型インフルエンザが発生し、10月以降全国的な広がりを認めました。皆様やお近くの方で感染された方もいらっしゃるかと思います。うがい、手洗いといった感染症から自分の身を守るための対策と同じく

らい重要な事は、他人に対し感染症を広げないための行動です。

ここで1つ、家庭や職場でもできる「咳エチケット」という感染対策をご紹介します。

咳やくしゃみの際、マスクがあれば一番良いのですが、マスクがない場合にも人がいない方向へ顔をそむける、ティッシュやハンカチなければ手などで口を覆う。覆った手は石鹸と水道水で洗うなどが具体的な対策です。誰にでもできる基本的な事であり他人に感染させない為の重要なマナーです。ちょっとした心がけで周りへの感染を防ぐことができるかもしれません。

今後も県民の皆様や地域に貢献できる感染対策を提供できるよう日々努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

【好生館ニュース】

院外処方が変わりました

昨年11月より、写真のようにファックスコーナーがセルフサービスになりました。ファックスコーナーは佐賀県薬剤師会の運営で行われており、佐賀市内の広域4病院は全てエニファックスという機械が導入されました。何れ無人化されるようになると考えられます。カードが増えて困るかも知れませんが、掛かりつけ調剤薬局のカードを持つことをお勧めします。カードは掛かりつけの調剤薬局に言えば発行してもらえます。ところでファック

スコーナーは何のためにあるのでしょうか。当然調剤薬局に行かれたとき直ぐにお薬がもらえるためと考えられますが、意外と来られてから調剤している調剤薬局もあります。後発医薬品への切り替えをお勧めするなどいろんな理由があるようです。長期間の処方が可能になったり、これまでと違ったお薬が処方されたり、患者さんへ迷惑をかけないための設置と考えます。また、ファックスコーナーを利用する必然性があるのかと聞かれると答えは「ノー」です。義務ではありません。ご自分の都合に合わせてご利用ください。

私たち病院薬剤師は「薬薬連携」と言って調剤薬局の薬剤師と勉強会をするなどして連携を深めています。私たちは患者さんがお薬ノートと掛かりつけ薬局を持つことによって、服用中のお薬情報や薬歴情報を共有し、有効で安全な薬物療法が行われるよう努めてまいります。



平成21年度採用医師一覧表（医員を除く）

診療科目	氏名	顔写真	専門分野	診療科目	氏名	顔写真	専門分野
内科	中村 恵 出身大学 佐賀医科大学		腎臓内科 日本内科学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本透析医学会専門医	耳鼻咽喉科	横川 恭子 出身大学 佐賀医科大学		耳鼻咽喉科・頭頸部 外科全般 日本耳鼻咽喉科学会専門医
	秋山 巧 出身大学 佐賀医科大学		肝・胆・膵 日本内科学会認定医	泌尿器科	菊池 達也 出身大学 筑波大学		泌尿器科一般 日本泌尿器科学会専門医・指導医
	高島 毅 出身大学 佐賀医科大学		日本内科学会認定医	整形外科	塚本 伸章 出身大学 九州大学		日本整形外科学会専門医
	岩永健太郎 出身大学 佐賀医科大学		呼吸器 日本内科学会認定医	放射線科	眞武 邦茂 出身大学 九州大学		日本医学放射線学会放射線科 専門医
	藤本 優 出身大学 佐賀医科大学		肝、胆、膵 日本内科学会認定医 日本消化器病学会認定医・専門医		安座間真也 出身大学 佐賀医科大学		放射線科一般
	小杉 雅史 出身大学 佐賀医科大学		神経 日本内科学会認定医・専門医	麻酔科	野口亜紀子 出身大学 佐賀医科大学		麻酔一般 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定医
	宮原 貢一 出身大学 佐賀医科大学		消化器 日本内科学会認定医		谷川 義則 出身大学 佐賀医科大学		麻酔一般 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定医
高橋由紀子 出身大学 九州大学		小児外科 日本外科学会認定医 日本小児外科学会専門医	杉山 馨祐 出身大学 佐賀医科大学			麻酔一般	
外科	竜田 恭介 出身大学 九州大学		小児外科 日本外科学会専門医	西原 仁子 出身大学 久留米大学		麻酔一般	
	前田 寿幸 出身大学 佐賀医科大学		小児科全般 日本小児科学会認定医	循環器科	古閑 靖章 出身大学 九州大学		循環器一般
小児科	熊本 崇 出身大学 佐賀医科大学		小児科全般 日本小児科学会専門医	救命救急センター	松本 康 出身大学 自治医科大学		日本内科学会認定医
	荒木 薫 出身大学 佐賀医科大学		小児科全般		小山 敬 出身大学 秋田大学		救命救急



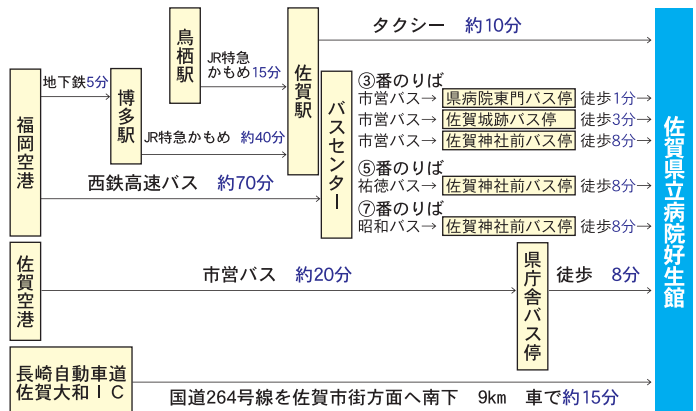
【豆知識】

知って得するお薬の話

薬剤長 奥平 献

漢方薬について町の薬局で買えるのだから、病院で処方する必要はないのではという事業仕分けの報道がありました。私にはとんでもない話に思えました。漢方は患者さんの「証」をみて薬を決めます。西洋医学は患者さんの訴えと検査結果で病名を決定し、薬を決めます。「証」は中国の長い歴史の中で生まれたものです。たとえば今回の新インフルエンザに「麻黄湯」「葛根湯」が良いという報道がありました。「麻黄湯」「葛根湯」が利くのはインフルエンザの初期症状つまり体中の違和感と発熱こわばりに効果があって2～3日の服用が適応でそれ以降では副作用はあっても無駄な服用となってしまいます。そういう判断は患者さん自身には難しいものです。また、「小柴胡湯」は肝炎の薬として圧倒的な支持を得て当院でも多く使われてきました。しかし、インターフェロンとの合性が悪いし、肝硬変、肝癌の患者さんには投与できません。当院では肝炎には処方されなくなってきました。漢方薬だから安全とは決していえません。最近全国の大学病院などで漢方外来が新設されるなど漢方薬が見直されています。

どうしてなのか考えてみると、切れ味の鋭い新薬が使用できるようになったが、副作用が付きまとう。あるいはニッチなところで患者さんの訴えに対応できない。そんな時「証」をみて漢方薬を選ぶと不思議とフィットする。そんな経験から、漢方薬を見直しているのだと思います。今、エビデンス・ベースド・メディシン（EBM）といわれる実証に基づいた治療が当たり前になっています。当院でもEBMに基づいて処方がなされています。漢方薬のEBMもアメリカで証明されようとしています。西洋医学的な見方でも漢方は効くのだと証明されそうです。当院の医師が漢方を処方しているのかと言われれば、少数の医師だけです。しかし、わたしはよい薬はなくなるとは思いません。「証」の理論も決してなくなるとは思いません。これから漢方がどういう風に見直されるか見守っていきたいと思います。最後に漢方薬の服用は食前、食間、食後？お湯に溶いて？と用法についての疑問があります。できればよくお湯に溶いて食間または食前に服用することをお勧めしますが、面倒な方は「忘れないよう食後でもいいですよ」とお答えしています。



外来医師一覽表

(平成22年1月1日現在)

区 分			月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	午 前	貞包 典子	権藤 久司 貞包 典子	権藤 久司	貞包 典子	権藤 久司 貞包 典子	
	呼吸器(肺)		松尾 綾子	富永 正樹	岩永健太郎 松尾 綾子	富永 正樹	岩永健太郎	
	肝臓・胆道 ・膵臓		藤本 優 大塚 大河	秋山 巧	川添 聖治 大塚 大河	川添 聖治	藤本 優 秋山 巧	
	消化器(胃・腸) 血液		宮原 貢一	緒方 伸一	—	緒方 伸一	宮原 貢一	
	腎臓・透析		松石 英城 高島 毅	桑原 伸夫 中村 恵	松石 英城 —	桑原 伸夫 高島 毅	権藤 久司 中村 恵	
	糖尿病内分泌		土居 隆志	—	土居 隆志 勝田 仁	—	土居 隆志	
	神経内科		高島 洋	高島 洋	小杉 雅史	小杉 雅史	高島 洋	
	腫瘍内科 (再診・院内コンサルト)		嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美	嬉野 紀夫 梅口 仁美	
	感染症コンサルト		青木 洋介	—	—	福岡 麻美	—	
外 科	消化器外科	午 前	廣橋 喜美	佐藤 清治	廣橋 喜美	手 術	佐藤 清治 田中高小池	
	呼吸器外科		田中 聡也	森戸 清人	大高 和真	櫻木 徹	手 術	
	小児外科		手 術	櫻木 徹 大間 寛子	手 術	手 術	手 術	
眼 科	午 前	手 術	古賀 隆史 下村由起子	手 術	古賀 隆史 下村由起子	古賀 隆史 下村由起子		
産婦人科	(婦人科) 午 前	荒木 保博 福田 耕一	荒木 保博	手 術	荒木 保博	手 術		
小 児 科	午 前	市丸 智浩 前田 寿幸	前田 寿幸 熊本 崇	市丸 智浩 熊本 崇	市丸 智浩 荒木 薫	前田 寿幸 荒木 薫		
	午後	アレルギー 外 来	予防接種	乳児健診 一ヶ月健診 アレルギー外来	アレルギー 外 来	予約外来		
	午後(時間外)	その日の担当が診察します。						
耳 咽 喉 科	午 前	手 術	宮崎 純二 恒富今日子 横川 恭子	手 術	宮崎 純二 恒富今日子 横川 恭子	宮崎 純二 恒富今日子 横川 恭子		
皮 膚 科	午 前	武下 泰三 小林 真二	武下 泰三 小林 真二	武下 泰三 小林 真二	手 術	武下 泰三 小林 真二		
泌尿器科	午 前	徳田 倫章 狩野武洋 池達也	徳田 倫章 狩野武洋 正岡 寛之	手 術	徳田 倫章 池達也 正岡 寛之	手 術		
整形外科	午 前	野口 康男 力丸 俊一 佛坂 俊輔 塚本 伸章	手 術	佛坂 俊輔 力丸 俊一 塚本 伸章	手 術	野口 康男 力丸 俊一 塚本 伸章 佛坂 俊輔		
放射線科	消化管診断外来	午 前	—	—	梶原 哲郎	梶原 哲郎	—	
	画像検査 部門外来		眞武 邦茂 (安座間真也)	安座間真也 (清水 勅君)	安座間真也 (眞武 邦茂)	安座間真也 (清水 勅君)	清水 勅君 (安座間真也)	
	消化管造影		梶原 哲郎	梶原 哲郎	—	眞武 邦茂	梶原 哲郎	
	放射線治療		渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳 神 経 外 科	午 前	坂田 修治	岡本 浩昌	坂田 修治	手 術	坂田 修治 若宮 富浩		
精 神 神 経 科	午 前	原 富英 長尾奈穂子	原 富英 長尾奈穂子	原 富英 長尾奈穂子	原 富英 長尾奈穂子	原 富英		
循環器科	午 前	貞松 研二 田中 玄紀 吉富 有哉	吉田 敬規 古閑 靖章	田中 玄紀 本田 修浩	心 カ テ	林田 潔 吉田 敬規 大場 香織		
心臓血管 外 科	午 前	手 術	内藤 光三 村山 順一	手 術	内藤 光三 村山 順一	手 術		
緩和ケア科	午 前	小杉 寿文 香川 嘉彦	—	—	小杉 寿文 香川 嘉彦	—		
麻酔科 (ペインクリニック)	午 前	休 診						
救命救急センター			藤田 尚宏、小山 敬、松本 康、藤田 亮、森塚 達也、鋸田 晶子					